

# 12-REAseries

サインロッドレスシリンダ  
 $\phi 25, \phi 32, \phi 40, \phi 50, \phi 63$

## 型式表示方法



●クリーンシリーズ  
 12—摺動部特殊処理

●チューブ内径(mm)

12 - REA 25 [ ] - 300

●シリンダストローク(mm)

●ポート種類

記号	種類
無記号	Rc
TN	NPT
TF	G

## 型式

型式	チューブ内径 (mm)	配管径	形式	標準ストローク (mm)	製作可能最大ストローク (mm)
12-REA25	25	Rc1/8	無給油 タイプ	200, 250, 300, 350, 400, 450, 500, 600, 700, 800	1300
12-REA32	32	NPT1/8 G1/8			
12-REA40	40	Rc1/4		200, 250, 300, 350, 400, 450, 500, 600, 700, 800, 900, 1000	
12-REA50	50	NPT1/4			
12-REA63	63	G1/4			

注1)標準最大ストロークを超え、製作可能最大ストロークまでは、特注対応となります。

注2)中間ストロークは1mm毎での対応が可能です。

注3)製作可能最大ストロークを超える場合は、当社にご確認ください。

## 仕様

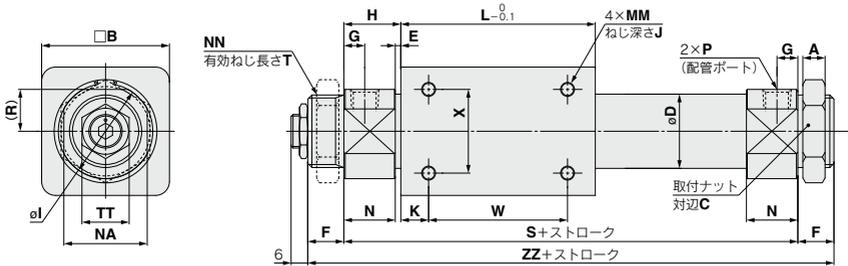
項目	チューブ内径 (mm)	25・32・40・50・63
保証耐圧力		1.05MPa
最高使用圧力		0.7MPa
最低使用圧力		0.18MPa
周囲温度および使用流体温度		-10~60°C(ただし凍結なきこと)
使用ピストン速度		50~300mm/s
ストローク長さの許容差		0~250st: $^{+1}_0$ , 251~1000st: $^{+5}_0$ , 1001st~ $^{+10}_0$
使用グリース		フッ素系グリース
清浄度クラス (ISOクラス)		クラス5

## 磁石保持力

チューブ内径 (mm)	25	32	40	50	63
保持力 N	363	588	922	1471	2256

外形寸法図

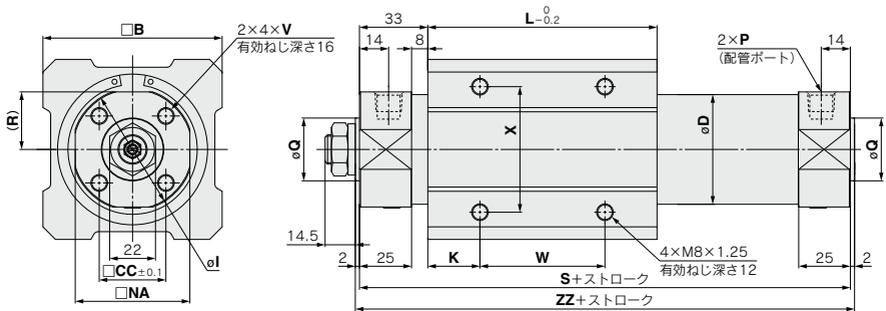
12-REA25・32・40



型式	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	MM	N	NA	NN	R	S	T
12-REA25	8	46	32	26.4	2	13	7.5	20.5	34	8	10	70	M5×0.8	18.5	30	M26×1.5	15	111	10
12-REA32	8	60	32	33.6	2	16	8	22	40	8	15	80	M6×1	20	36	M26×1.5	18	124	13
12-REA40	10	70	41	41.6	3	16	11	29	50	10	16	92	M6×1	26	46	M32×2	23	150	13

型式	W	X	ZZ	TT	P(配管ポート)		
					無記号	TN	TF
12-REA25	50	30	137	17	Rc1/8	NPT1/8	G1/8
12-REA32	50	40	156	19	Rc1/8	NPT1/8	G1/8
12-REA40	60	40	182	22	Rc1/4	NPT1/4	G1/4

12-REA50・63



型式	B	CC	D	I	K	L	NA	Q	R	S	V	W	X	ZZ	P(配管ポート)		
															無記号	TN	TF
12-REA50	86	32	52.4	58	25	110	55	30 <sup>-0.007</sup> <sub>-0.037</sub>	27.5	176	M8×1.25	60	60	180	Rc1/4	NPT1/4	G1/4
12-REA63	100	38	65.4	72	26	122	69	32 <sup>-0.007</sup> <sub>-0.043</sub>	34.5	188	M10×1.5	70	70	192	Rc1/4	NPT1/4	G1/4

方向制御機器

エアシリンダ

ロータリーエアー

エアチャック

圧縮空気清浄化機器

モジュラー

圧力制御機器

管継手 & チューブ

駆動制御機器

圧カセイス

# ⚠ 製品個別注意事項

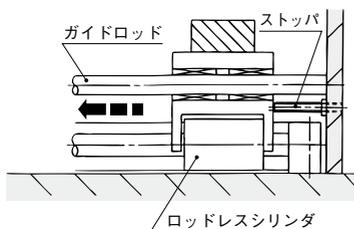
ご使用前に必ずお読みください。

## 使用上のご注意

### ⚠ 注意

- ① 外部移動子の回転にご注意ください。  
他軸(リニアガイドなど)に接続してのご使用をご検討ください。
- ② マグネットカップリングがずれた状態で使用しないでください。  
マグネットカップリングが外れた場合は、ストロークエンドにて外部移動子を手(またはピストン移動子を圧空)で押し正しい位置に戻してください。
- ③ 外部移動子に横荷重をかけないでください。  
負荷とシリンダを直接取付た場合、それぞれの軸心の心ずれを吸収することができず、横荷重がかかった状態となり、発塵量の増加や作動不良の原因となります。心ずれおよびシリンダの自重たわみを吸収できるよう接続方法を考慮の上ご使用ください。図-1.に推奨取付図を示します。

図1



- ④ 垂直方向でのご使用は許容荷重にご注意ください。  
垂直方向でご使用になる場合は、許容荷重は機種選定方法のようになりますが、許容値以上の負荷がかかるとマグネットカップリングの離脱による落下の危険性があります。ご使用の際には、使用内容(圧力、負荷、速度、ストローク、頻度等)をご連絡の上ご相談ください。
- ⑤ シリンダチューブ外周面に傷や打こんをつけないようにご注意ください。  
ウェアリングの損傷をまねき、発塵量の増加や作動不良の原因となります。
- ⑥ ボディ固定のご使用は避けてください。  
シリンダは、必ず両ヘッドカバーを固定してご使用ください。ボディ固定で作動させますとウェアリングの損傷をまねき、発塵量の増加や作動不良の原因となります。

## 分解・点検について

### ⚠ 警告

- ① エアークッション機構を損傷する場合がありますので分解はしないでください。  
分解、点検の際には当社へご用命ください。

## 調整について

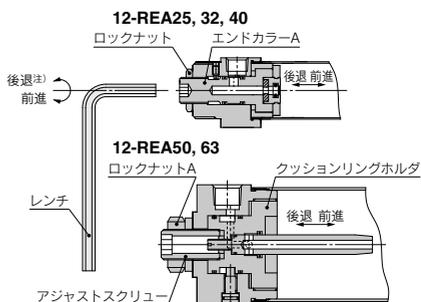
### ⚠ 注意

- ① ストロークアジャストは位置調整用です。  
これは、シリンダのストロークエンドの位置を装置等のメカストップに合わせるためであり、クッション効果(スムーズな起動、ソフト停止)を調整するための機構ではありません。

## 調整について

### ⚠ 注意

- ② ストロークアジャスト調整は無加圧時に実施してください。  
安全確保のためのストロークアジャストの調整は、無加圧時に行ってください。調整に際しては、駆動エアを抜き、残圧処理や落下防止対策を実施したのち、調整をしてください。  
以下調整手順を下記に示します。  
1) ロックナット(A)を緩めます。  
2) エンドカラーAまたはアジャストスクリーウの六角穴にレンチを差込み、左右に回転させ、クッションリングホルダ(ストロークエンド)を前後進させ、外部ストップとの位置を合わせます。  
3) ストロークエンド調整が終了後、ロックナットAを締めます。  
ロックタイト262高強度などの緩み止めをつけてください。



注) 出荷時には、フルストローク設定となっておりますので、後退(左回転)はしないでください。

### ● アジャストスクリーウの六角穴

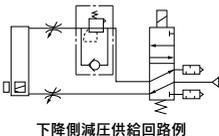
型式	六角穴対応(mm)	● ロックナットAの締付トルク	締付トルク(N・m)
12-REA25	5	12-REA25	1.2
12-REA32	5	12-REA32	1.2
12-REA40	6	12-REA40	2.1
12-REA50	8	12-REA50	3.4
12-REA63	8	12-REA63	3.4

- ③ 速度調整には、「絞り」タイプのスピードコントローラを推奨します。推奨スピードコントローラは下表のとおりです。

### ● 推奨スピードコントローラ

型式	型式		
	エルボタイプ	ストレートタイプ	インラインタイプ
12-REA25	10-AS2201F-01-06-X214	10-AS2301F-01-06-X214	10-AS2001F-06-X214
12-REA32	10-AS2201F-02-06-X214	10-AS2301F-02-06-X214	10-AS2001F-06-X214
12-REA40	10-AS2201F-02-06-X214	10-AS2301F-02-06-X214	10-AS2001F-06-X214
12-REA50	10-AS3201F-02-08-X214	10-AS3301F-02-08-X214	10-AS3001F-08-X214
12-REA63	10-AS3201F-02-08-X214	10-AS3301F-02-08-X214	10-AS3001F-08-X214

メータイン、メータアウトタイプのスピードコントローラにて速度の調整は可能ですが、クッション効果(スムーズな起動、ソフト停止)が得られない場合があります。水平取付以外の取付の場合には、下降側に減圧供給回路を入れたシステムを推奨します。(上昇の起動遅れ対策、省エアにも効果があります。)



- ④ クッション調整は不要です。  
固定型クッション機構のため、従来のようなクッション調整は不要です。